

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）別ウィンドウで開くの後継として、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

日本テックボール協会『SDGsの取り組み』



日本テックボール界を統括し代表する団体としてテックボールを通じて豊かなスポーツ文化を創造し、子供たちの健全な育成と生涯スポーツ社会の実現。さらには競技力の向上を目指すことで地域社会の活性化と健康で文化的な社会の構築に寄与することを目的とし、その目的に資するため次の事業を行なう。



テックボールは、男女シングルス・ダブルス、ミックスダブルスを種目とし、男女問わず楽しめるスポーツです。国際競技連盟（IF）である、国際テックボール連盟（Fédération Internationale de Teqball、略称はFITEQ）による各国協会の評価基準の項目の一つとして協会の理事・登録選手人数における男女比率の平等性を重要視しており、日本テックボール協会においてもジェンダー・イクオリティを重きを置いて活動しています。



テックボールには、砂上で行うビーチテックボールという正式種目があり、アジアビーチ競技大会（Asian Beach Games）においても正式競技として登録されていることなどからも、海洋および沿岸に関するSDGsの実現は必須となっています。またジャバンビーチゲームズへの出場時などでは、砂浜の清掃活動などを積極的に行い、海洋汚染の防止や生態系の維持回復に努めています。



IF (International Federation) である国際テックボール協会では、SDGsを最重要課題の一つとして位置付け、SDGsハンドブックを策定するなど、すべての項目において世界各地で積極的な活動を行なっています。日本テックボール協会においてもIF並びに各国協会とグローバルに連携し、SDGsの活動を活性化していきます。

(SDGsハンドブック <https://cdn.buttercms.com/eYysuE4SREaLAX6iq00P>)